

長岡京市地域健康福祉（後期）計画

だれもが安心して暮らせるまちづくり

～ふれあい、わかりあい、支えあいのまち ながおかきょう～



平成 23（2011）年 3 月

長 岡 京 市

はじめに

平成15年3月に「長岡京市地域健康福祉計画」を策定してから8年が経過しました。今日、長岡京市は市民の5人に1人が高齢者となり、少子高齢化や核家族化がさらに進み、家庭や地域で支えあう機能が弱まる中、地域コミュニティの醸成が求められています。国においては、介護保険制度や障害者自立支援法の改正など、保険や制度の見直しが行われる一方で、本市においても市民一人ひとりが必要としている支援を、きめ細やかに提供することが求められています。



こうした中で、地域で福祉的な課題を抱える市民や家庭に対して、地域健康福祉に携わる人や組織が連携し適切に情報や有効な福祉サービスの提供を行うための体制を整えることが重要な課題となっています。

「長岡京市地域健康福祉（後期）計画」は、「だれもが安心して暮らせるまちづくり」という基本理念のもとに、この基本理念を具現化したものとして「ふれあい、わかりあい、支えあいのまち ながおかきょう」を本市の地域健康福祉に関する将来像として、「自助（地域住民一人ひとりやその家族の努力）、互助（隣近所の身近な住民どうしでの相互扶助）、共助（地域住民と地域活動団体などとの協力）、公助（公的な制度）」による生活支援システムを踏まえた、今後5年間の活動目標を策定しました。

本市としましては、これからも「きずな」や「つながり」を大切にしながら、市民が安心して幸せに暮らしていただけるよう、「住みつづけたい みどりと歴史のまち 長岡京」を長岡京市第三次総合計画の将来都市像として、全力で取り組んでまいります。

また、本計画は「長岡京市社会福祉協議会第2次地域福祉活動計画」と連動するものであり、「地域福祉の推進」という使命を共有し協働していきます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたりご尽力をいただきました長岡京市地域健康福祉推進委員会の皆様をはじめ、住民懇談会へご出席いただき貴重なご意見を賜りました市民の皆様、またアンケートにご協力いただきました市民・団体・企業など関係各位に対しまして、心からお礼を申し上げます。

平成23年3月

長岡京市長 小田 豊

目次

第1章 計画の策定にあたって	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置づけ	4
3. 計画の期間	5
第2章 計画の策定手法	6
第3章 各種調査結果からの主な現状と課題	
第4章 計画の基本的な考え方	10
1. 基本理念	10
2. 基本視点	11
3. 基本目標	12
4. 施策体系	14
第5章 施策内容	15
1. 「ながおかきょう“あい(愛)”コミュニティ」の形成	15
2. 福祉・保健・医療のネットワークづくり	21
3. 住民の生活支援の充実	26
4. 地域健康福祉の推進基盤の充実	34
第6章 計画の将来像実現に向けた方策	37
第7章 施策の取組目標	40
第8章 計画の推進方策	44
資料編	46
1. 統計調査結果	46
2. 市民アンケート調査結果	50
3. 団体アンケート調査結果	64
4. 住民懇談会(ワークショップ)結果	67
5. 企業アンケート調査結果	73
6. 長岡京市地域健康福祉(後期)計画 策定経過	75
7. 長岡京市地域健康福祉推進委員会設置要綱	76
8. 長岡京市地域健康福祉推進委員会 委員名簿	79